

# 平成30年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 島崎 真治

## ○ 平成30年度重要事業

事業名	新斎場の整備
目標	新斎場の整備については、昨年度完了した基本計画をもとに、実施設計に着手しています。 今後とも、地権者や関係自治会等には引き続き丁寧な説明を行い、用地取得や造成工事等に着手します。
年度末達成状況	実施設計については、年度内に完成しました。 また、用地取得を完了し、造成工事も年度内に完成しました。
自己評価	新斎場の整備については、地権者をはじめ地元の理解を得ながら進めることが出来ました。 今後も、平成32年度（2020年度）の竣工に向け、着実に進めていきます。

事業名	協働のまちづくり事業の推進
目標	射水まちづくり大学の卒業生が自ら企画・運営する「射水まちづくり大学同窓会（仮称）」の開催を支援するなど、協働の担い手の育成・発掘に努めます。 また、地域振興会職員応援団制度を見直し、地域支援職員の組織化を図ることにより、職員の地域活動への参加を促すとともに地域振興会との連携を強化します。
年度末達成状況	5月に設立された「射水まちづくり大学同窓会」との連携を進め、同窓会のネットワーク等を活用した協働の担い手育成・発掘のための推進体制を整えました。 また、地域振興会職員応援団体制の見直しについては、新任職員の実地研修を実施するなど、職員の関わり方の検討を進めました。
自己評価	「射水まちづくり大学同窓会」が設立されるなど、目標は概ね達成できました。 職員応援団制度については、効果的な活用を図り、より実効性のある制度になるよう進めます。

事業名	公共交通プランの見直し
目標	公共交通の整備の指針として、平成25年9月に策定した「射水市公共交通プラン」が中間見直し時期を迎えており、コミュニティバスをはじめとする公共交通ネットワークのさらなる利便性の向上を図るため、地域特性と公共交通の現状と課題を整理するなど、将来にわたり持続可能な公共交通網の計画策定に着手します。

年度末 達成状況	市民アンケートやコミュニティバス及びデマンドタクシー利用者へのアンケート調査を実施するなど、新たに策定する地域公共交通網形成計画の中で検討すべき課題や地域特性等に応じた公共交通の考え方を整理しました。
自己評価	市民アンケート調査や外部委員など、多様なお意見を踏まえ、概ね予定どおりに進捗しました。 今後も、持続可能な公共交通となるよう努めていきます。